

# ΚΟΣΜΟΣ

**特集** ライフワークを見つけよう Part. 2

No.114 1996 夏

巻頭・エッセイ	1
特集	2
研究室の窓	4
図書館引き出し帳	5
貴重書を訪ねて	7
図書館紀行	8
ただいま貸出中!	9
カウンター発9時	9
図書館アラカルト	10

巻頭エッセイ

## Dracula in den Tropen

Ernst Lokowandt



Nach der Oberschule machte ich eine Weltreise per Anhalter. Die Reise war abwechslungsreich und ich traf viele Menschen, aber zum Lesen kam ich bei dieser Reiseart nicht. Etwa drei Monate nach meiner Abreise war ich in einem kleinen Dorf an der thailändisch-malaiischen Grenze Gast bei einem Englischlehrer, der ein englisches Buch besaß, den "Count Dracula" von Bram Stoker. Ich lieh mir das Buch und las es, nachdem meine Gastgeber schlafengegangen waren, bei einer Öllampe die ganze Nacht hindurch bis zur Morgendämmerung. Dann ging ich ins Freie und las dort weiter. Bis zum Frühstück hatte ich das Buch ausgelesen. Ich hatte drei Monate nichts gelesen und war ausgehungert nach Lektüre. Außerdem war die Geschichte spannend. Was mir aber am stärksten in Erinnerung geblieben ist, das ist die Übereinstimmung der Atmosphäre dieser gespenstischen Geschichte mit der Atmosphäre des Ortes, also mit der flackernden Beleuchtung der Öllampe während der Nacht und dann vor allem mit dem fahlen Licht der Morgendämmerung. Auch für Bücher gilt offenbar, daß ihre Wirkung von Zeit, Ort und Umständen abhängt.

### 〈要約〉—— 読書TPO ——

私は高校卒業後、ヒッチハイクで世界一周旅行をやった。出発して3ヵ月後、タイの田舎の、小さい村のある英語の先生の家で、B. ストーカーの『ドラキュラ侯爵』を見つけた。3ヵ月間一行も本を読まなかった私は、その本を石油ランプのちらちらした光で徹夜して読み、夜明けになると外のうす明かりで読み続けた。読み物に飢えていたことに加えてストーリーも面白かったが、何よりも記憶に残っているのは、あの不気味な小説の雰囲気と環境の雰囲気的一致であった。読書に関しても、TPOは重要のようである。

(ロコバント・エルンスト 教養課程ドイツ語教授)

読書案内

『ドラキュラ伯爵 : ルーマニアにおける正しい史伝』(朝霞所蔵 開架 289.3 : SN)

『吸血鬼ドラキュラ』 B. ストーカー著 東京創元社 1971 (白山発注中)

『Dracula』 B. Stoker Oxford University Press, 1996 (白山発注中)





今、私は1枚のCDを聴いている。♪ 少年の日 人は誰も いっぱいの夢を 追いつけていた……♪

少年のころ、私には2つの夢があった。ひとつは研究に携わった仕事をする事、もうひとつは運動を続けることである。幸いなことに、学者の仕事に就くことができ、また、柔道を続けていくことができた。2つの夢は、現在私のライフワークになっている。

思い起こせば、多くの方の多くのライフワークに育てていただいた。今日の私があるのは、そのお陰様である。大学時代から指導をいただいている恩師にも巡り会うことができ、恩師のような学者になりたいと思いつけている。ライフワークは別のライフワークを育てる。感動できない人間は、人を感動させることなどできない。自分を育ててくれた多くのライフワークに感謝できたとき、自分のライフワークは育っていく。

ところで、ライフワークは本来100%が楽しみであるはずだ。しかし、多くのばあい、ライフワークが未成熟の段階にあるため、約9割が苦しみであり、残りの

1割が楽しみである。たまたま、人生に辛くとも、自分から進だし、9割の苦しみは、それがど

**生命のときめき ~育てられて育て~**  
大坪 宏 至

挑むことができるもので、けっして途中でやめてしまうことはなく、継続していけるものだ。つまり、苦しみプロセスも楽しんでいるのであり、やがて100%が楽しみになっていく。

ライフワークは自分の生命のときめきであり、自分以外の他のものに良い影響を及ぼす無限の可能性を秘めており、周りの環境を良い方向に変化させるものである。私がライフワークを楽しむことは、私に触れた学生にも関係してくる。生命の輝き、滲み出る品性、溢れ出る教養、包み込む寛大さも、ライフワークを楽しむことで身に付いてくる。すべてのライフワークは関係し合っている。

植木等さんの「少年の日の夢」を聴いていると、生命を大切に、ときめいて、生きていこうと、そんな気になる。

(おおつば・ひろし 経営学部助教授)

やっぱ模型って感じ……

太田卓

ライフワークなんてまだ解らないけど自分の中でそれに近いのはやっぱり模型かという気がする。この手のおたく趣味のたちの悪いところはメディアを通して仲間の姿がちらつくところで1人なのにそうじゃない気になったりするところだ。そーいう閉じているのはちょっといやだなと思いつつも続けているのは好きだからだけど、その「好き」の正体が問題で、単に「そこから抜け出すのがいや」の正当化のためには話にならないので何とか上手い言い訳はないかと考えてみた。

では。まずいわゆる「模型」には大きく分けて2種類あります。1つは純粋なる縮尺模型。これは工業用の試作模型なんかのことです。実物の1/100スケールといったらもう、びったし1/100の大きさで作る機械的な作業の支配する模型のことです。もう1つはそれに「イメージ」なるものをプラスした模型です。つまり1/100スケールといっても100%それに従うわけではなくその模型を通して伝えたかったモチーフのイメージをより正確に伝えるような形にデフォルメしちゃう



### 60歳からの第一歩

吉田チエ子



「山中湖～白山エクスプレス」と名付けた東洋大学へのバスの往復も、はや10余年になる。1944年に山中湖に移り住んだのであるが、来遊された元学長から本学の井上学祖の話はよく承わっていた。これが私と東洋大学とのかかわりの初めであった。

1984年の主人との死別。後追い心中しかねない苦しみの中で、これを克服すべく翌、1985年60歳で本学の通信教育課程に入学することにした。まさに第二の青春が始まったのである。

第二の青春は、あらゆるマイナスをプラスに転換するために相当の努力を要するものであった。肉体はもちろん精神をいかに高揚させていくかそれが第一の課題であった。

卒業論文の執筆に際しては、現在の主任教授であられる大島建彦博士より「せつかくだから40年も住んでいるフィールドである山中湖の民俗を調べては」とのご助言があり、私は今までなじみのなかった民俗学という観点から村民の生活について調べ始めた。長年この地に暮しながら、全く気がつかない農民の生きた歴史がそこには豊かにもち伝えられていた。

子供の生活や遊びを中心に平野区の民俗を取りあげた卒業論文はただ聞書の羅列に終わったが、いくら広い視野からまとめた修士論文は民俗学の何であるかが、少し分ってきたこともあって思いがけなく校友会学生研究奨励賞受賞の栄誉に輝いた。

大学院生活では数々の古典の講義や演習を通じて貴重な学問の方法を学びとってきた。寺社の略縁起と取りくんで“耳や足を通して”をモットーに各地を歩き、宮司や住職はもとより古老の方々からも直接に会って聞き出すことができた。

まさに学問の喜びは底しれぬ魅力に満ちている。

バスを降りればもう大学や教授の庇護からも離れて、ただ一人の学究として霧の広野を歩むほかはない。限りない学恩に感謝しつつライフ・ワークの完成をめざして行きたいと思う。

(よしだ・ちえこ 大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程3年)

てもいいや、という考え方の模型です。例えば自動車の模型にしても、実物をそのまま小さくしても、人間の視点が本物を見るときと違うもんですから「似てない」なんて事が起こります。ですから店で売っているキットは全長がちょっと長めになってたりします。人間の目の錯覚を計算に入れるとそっちの方が「似て」見えるわけです。で、実際僕がキットを買うときもそっちの方がいいわけで、そう考えると僕が好きなのは本当の意味の模型ではなく、自分の中のイメージを立体化したものが欲しくて、それを作るのが好きだ、ということになります。

その昔ミケランジェロがダビデを、ブールデルがヘラクレスをモチーフにやっていたことを、僕はガンダムなんかをモチーフにしてやってる、ということになります。高踏的モチーフしか認められなかった古典芸術に対して商業ベースの通俗的なものをモチーフに自分のイメージを表現しているということを考えると「ガンプラ改造」は、ポップアートに含まれるわけです (!! ) どうですか? なんか妙に「模型」という言葉がエラソーに聞こえませんか? 模型だってちゃんとしたライフワークになりそうですよね!?

(おおた・たかし 経営学部商学科1年)

※Part.1はNo.91を御覧ください。





## ホスピタリティー産業の学際性

佐々木 宏 茂

商業学や経済学では無形の財をサービスとか用役と称する。これは、学術用語として定着しているので常に使われる言葉である。

ホテル業も一般的には、サービス業と呼ばれる。ここでホテル業を単にサービス業と言わず、ホスピタリティー産業と称する意義とホテル学との関係を述べ、それを学ぶことが学際的観点からなされる意義について述べてみたい。

古代ギリシア哲学者であるニコマコスが、「あらゆる技術(テクネ)あらゆる研究(メトス)は何らかの善を希求している。」と言っている。

第2次世界大戦後、わが国は敗戦によって一切を失い、荒廃の中から立ちあがるために、まず経済の復興が第一の目標であった。幸い山紫水明な自然は残った。これを資源として、外客観光誘致による外貨を獲得し、その外貨をもって、外国より資源を購入して経済の復興に役立てようとした。そのために、国際観光ホテル整備法なる法律をつくり、外国人客の泊まるにふさわしいホテル数を増やしていった。

最もホテル業が急成長した昭和30年代の終りから40年代の初めにかけては、「ホテルマンは、国民外交官としての仕事をしている。」とのうたい文句のもとに、従業員の募集が行われた。ちょうどその頃、昭和38年東洋大学短期大学に、観光学科が設置された。そして実務教育に重点が置かれた。しかし、その後専門学校と短大の違いを何処に求めるかが教育の理念で問われなくなってきた。つまり、知識の深化と観光学の構築の必要に迫られてきた。少なくとも宿泊事業論を担当する者として、こうした実務教育を通して人格の向上をどのように位置づけるかである。

ホスピタリティーの語源はホスピスから由来している。ヨーロッパ中世の巡礼の旅の困窮者を、教会の一隅に無料で宿泊させた施設である。わが

国でも、奈良時代に布施屋と称する似たような施設がもうけられた。いわば、仏教の慈悲によるホスピスである。

昭和30年代以降の総合的な施策と幸運にめぐまれ、外貨は、入超して諸外国から非難されるまでになった。いまにして思えば、外国人客にふさわしいホテルを意識したことは滑稽とさえ思える。経済のみを考え、外貨獲得のみを政策とした時代のホテルは終焉した。現在では、「観光は世界平和のパスポート」といわれる如く、単に外貨獲得の目的は意味がなく、国際親善に寄与する施策に変化している。

もとより、現在のホテルは慈善事業ではない。しかし、ホテル宿泊料金に見合うことをきっちり定めて、無形の財を提供することはサービス概念であり、無理のない範囲で客に援助行為や感動や感謝される行為はホスピタリティーである。財の手段のみを考えたホテルサービスは、善を希求すること希薄である。こうした概念を中心に据えて宿泊施設は、食の提供の一つとっても食材の入手経路となる流通、加工、盛り付けの美と清潔さを、またホテルの施設運営も、科学的合理性と適宜なる情報が求められる。これらの総合的観念から善なるもの、美なるもの、真なるものを求めるための努力が要請され、その努力は人格の形成に寄与する。

装置産業としてのホテル学は、学際的な知識とあわせて教育的理念をどう理論的に折り込むかが課題であり、ひいては、東洋大学の建学の理念もここにおいて適応すべきと思っている。

(ささき・ひろしげ  
短大観光学科教授)



## ◎索引の世界◎ ～使い方へのアプローチ～

Walking Dictionaryなどと呼ばれる人々でも、すべてを知り尽くしているわけではありません。あるレベルまでの知識はあっても、あわせて探す手がかりを把握しているという支えが自信にもなっています。

情報化時代といわれる今日、過剰な情報の中には、重複があり、誤報があり、価値観の相違や政策の判断で分かれる情報も同時に混在しています。

選択は当事者の判断に委ねられます。一般に参考図書として扱われる資料群は、この状況を整理して正確な典拠となり、また検索の手段を提供し続けるものでもあります。

そうして、必要な情報を効率的、公平に入手出来る手がかりといえ、主観を入れずに編成された“索引”類が代表格といえるでしょう。

“索引”(=index, concordance…)とは? 「索引とは、あるまとまった情報を一度バラバラに解体した後、改めて特定の視座からそれを再構成したものである。」(月刊「言語」vol. 18 no. 4 p128=1989)、あるいは「書物の中の語句や事項の所在を捜し出す手引きとして編集したもの」(岩波国語辞典・第3版=1982)ですから、通常は誰もが知っているABCないし五十音などの順列で編成されています。“使い方”などと余計な事は考えないようにできてははずです。(むしろ、この方式を維持するため、“作り方”の方に様々な課題があって、技術論、方法論、時には索引思想として論じられる分野があります。)ただし、すべては約束ごとで編成されていますから、どの索引でも“凡例には目を通して”ください。書誌的な記述の構成や、収録の範囲、時代、言語などを示して使い方の道しるべとなっています。もう一つは、“付加価値情報”(附録など)に留意してください。略語表など効率化のため切り詰めた事項の案内、難読姓氏や年代換算、類書案内も時にはあって利用者へのバック・アップとなっています。

最近ではCD-ROMに移行して、冊子の形から切り替える分野も増えてきました。スピードアップ、プリントアウトも可能で使い出すと後戻りが

出来ない便利さですが、基本的な設計は同じです。まだ移行が出来ない分野もありつづけます。

また、日本の場合は、索引の編纂史が浅いためか不徹底な分野も多いのです。目録や総覧と称している文献でも実は索引だったりします。ちょうど目録の世界で合同所在目録(=Union Catalog)が、今も総合目録と称して類似の目録と混同して使用されているのにも似ています。

この状況が改善され、過不足なく索引の世界がレベル・アップするためには、まだ時間がかかりそうです。使い手と作り手という垣根を越えて、作りながら使い方方法論の課題にとりくむのも大切なことでしょう。

個人文庫、特殊コレクション目録などは、メディアの形態を変えつつも編纂される分野です。性格上、複数の索引が付加されて不思議はないのに多くは、単純な書名または著者索引のみでまとめています。目録本体に対し3:1の割合で索引量が維持されると目録効果が向上するなど、最近では伝えられることもまれになりました。

索引は便利、といっても集合と分散という相反する機能を索引は持っています。特集号などには目次集がより役立つので要注意です。

件名索引の一つ『人名件名』というのはイギリス人の知恵で、今も研究者への貢献が大きいものです。学問の世界はしばしば論争によって止揚され発展の経過をたどりませんが、論争の対象となる個人名の下に索引化されると、執筆者名や論題の切り出しが様々でもすべてこの『人名件名』の下に一覧出来ます。ここから論争文献目録の領域が発展してもいます。

索引を下請けに出す時代がすぎて、近年は、自ら索引作りをしつつ、研究や翻訳をする人々の層が厚くなっています。なぜなら、副次的な成果として用語の統一が出来る、定義づけの安定や史的变化のクロニクルなどがたどれ一石二鳥の成果が得られるからです。索引は検索の手段ですが、あわせて文化の一端をになっているとも思います。



## 〈索引ブックガイド〉

### 1. 天野 敬太郎

書誌索引論考：天野敬太郎著作集（日外アソシエーツ、昭和54=1979）

※半世紀を越えて、書誌・索引の世界を築いてきた著者の論集

■白山蔵 (010.4 : AK) ■朝霞蔵 (010.4 : AK)

### 2. 堀込 静香

書誌と索引：情報アクセスのための機能と使い方（日本図書館協会、1990）

※図書館人向けの参考図書

■白山蔵 (015.2 : HS) ■朝霞蔵 (015.2 : HS) ■工学部蔵 (010.8 : F-3 : 1-19)

### 3. 稲村 徹元

索引の話（日本図書館協会、1977）

※標準的な概説書。巻末に主な索引誌のリスト、参考文献目録を収録

■白山蔵 (039 : IT) ■朝霞蔵 (039 : IT)

### 4. 日本索引家協会

索引作成マニュアル（日外アソシエーツ、1983）

※日本の索引専門家による手引書

■白山蔵 (014.8 : N-4) ■朝霞蔵 (007.53 : N)

### 5. 緒方 良彦

インデックス：その使い方（産業能率大学出版部、1986）

※事例研究として便利だが、単行書の索引作成にふれず

### 6. Knight, G. Norman

索引：作成の理論と実際（日外アソシエーツ、1981）藤野幸雄訳

※イギリス索引協会の初級コース講義の再録

■朝霞蔵 (039 : KG)

### 7. 上田 修一

理工学文献の特色と利用法（勁草書房、1987）

※理工系にはグメリン、パイルシュタインなど特殊な検索誌があるので関係者には必読

■白山蔵 (010.8 : T-7 : 1-8) ■朝霞蔵 (507 : R) ■工学部蔵 (010.8 : T-2 : 1-8)

### 8. 「月刊・言語」 vol. 18 no. 4 (1989.4)

※特集・索引の時代

■白山逐刊 (Z805 : G-2) ■朝霞逐刊 (Z800 : G)

### 9. 「書誌索引展望」 vol.1 no.1 (1977) ~

※日本索引家協会の編集による専門誌

■白山逐刊 (Z039 : S) ■朝霞逐刊 (Z未分類)

補：索引の賞

「物集索引賞」昭和61年に創設され、4回までで中止。事務局：名著普及会  
なお雄松堂書店が平成9年よりゲスナー賞を創設予定

貴重書を訪ねて

# サヴァリー編 『商業百科事典』

全3巻 1741年

— *Dictionnaire universel de commerce* — 風 巻 義 孝



## 百年を越す空前のロングセラー

17～18世紀のフランスの繁栄を、今日に伝えている代表的な歴史的建築物は、ブルボン王朝の最盛期にルイ14世によりパリの郊外に造営されたヴェルサイユ宮殿であるが、その財政を担当していたのが、重商主義政策 mercantillism の推進者として著名なコルベール Jean Baptiste Colbert (1619—83) であった。西ヨーロッパの諸国が、それぞれに自国の商工業を保護育成し、貿易の拡大を競い合っていた当時、彼の片腕として「商業条例」を制定して、その名を法律の世界にも残しているサヴァリー Jacques Savary (1622—90) は、この時代を代表する商業経営書『完全なる商人』“Le parfait négociant”. 1675. の著者としても高い評価が与えられている。

ルネッサンス期イタリアの商業手引書の伝統を受継ぎ、この分野の知識や教訓を集大成したもので、タイトルに掲げているように実務面では総合性において、教養面では倫理性において、〈完全〉な商人になるための指導書として普及した。著者

の没後も二人の息子達などが手を加えて十数版を重ね、最終版は1800年に及び百年を越す空前のロングセラーとなった。ドイツ語版“Der vollkommene Kauff-und Handels=Mann” が初版出版の翌年に刊行され、その後オランダ語、イタリア語、英語などにも翻訳されている。

商業の必要性和有益性にはじまり、小間物商に従事したり織物商を営んだりした経験にもとづいて、奉公人たちの心得。内外の度量衡。各種商品の規格。手形と為替。小売商のための記帳、仕入、販売、在庫管理などの方法。会社組織及び、卸売業、製造業の経営。外国貿易の経営。仲介商と代理商。債権と債務などに内容は及んでいる。

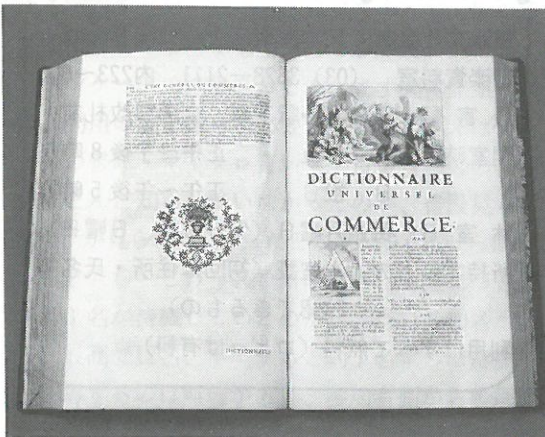
またヨーロッパの各地をはじめ、バルト海沿岸とロシア、地中海沿岸と近東地域、アメリカやアフリカの植民地などの商業事情にも、全体の1/5ほどをあて、水陸の交通路、主要貿易港の地理、輸出品、輸入品、関税、度量衡、通貨などにわたった解説がなされている。

父ジャックが残したこの知的遺産は、商人達の自習書として、確かに極めて有用なものではあったが、誰もが、日常的な必要に応じて、それぞれに役立てられるといった知識の形式にはほど遠いものであった。そこで、息子ブリュロン Jacques Savary des Brûlons (1657—1716) を総括責任者として、兄フィレモン・ルイ Phlémon Louis Savary (1654—1727) 達の協力と継承をえて、この本の内容をバラバラに解体して小項目とし、A. B. C—順に配列して事典の形態で出版したものが、この『商業百科事典』なのである。

〔次号につづく〕

(かざまき・よしたか

神戸商科大学名誉教授・元本学教授)





図書館紀行

東京文化会館 

## 音楽資料室 野村 健

JR上野駅の公園口を出ると、すぐ目の前に地味ながら落ち着いた雰囲気を持つ建物が見えます。これが海外にも名を知られた日本有数の音楽ホール、東京文化会館です。国内のみならず、海外からも多くのアーティスト達がステージに招かれており、皆さんの中にもここで数々の公演を楽しんだ思い出をお持ちの方も多いでしょう。

今回ご紹介する音楽資料室は、文化会館の4階にあります。収集の対象になっているのはクラシック系の音楽中心ですが、一部邦楽や民族音楽などもあり、音楽好きの多くの人々に利用されています。

資料はレコードやCD、LDから図書、楽譜に至るまで様々な種類がありますが、ほとんどが書庫に収められているので請求票をカウンターに出して係に出納してもらう形になります。視聴機器は利用者自身が操作するようになっており、自分の気に入った部分をくり返し楽しんだりすることができます。図書と雑誌の最新号は開架に出ているので自由に選んでカウンターで確認を受けてから閲覧できます。貸出は行われていませんが、合唱団やオーケストラなどの団体のみ登録を済ませれば楽譜を借りることができます。コピーは可能ですが、著作権の制約を受けるものもあるのでカウンター係と相談してみてください。

便利なのは土曜を含む平日が夜8時まで開いていること。学校や勤めが終わった後でも利用できます。休日は混雑して席順待ちで30分ほどかかる時もあるので平日の利用をお勧めします。初めて行く場合は、住所の確認のできるものを持って行けばその場で1年間有効の入室証を作ってくれます。なお、定例の休室日以外に臨時休室になることもあるので、行く前に電話で確認したほうが良いでしょう。

ところで、最近では音楽を聴くときはCDやLD

が主流になりましたが、この音楽資料室はレコードがまだまだ現役です。CD化されていない一昔前の名演奏を楽しむことができるのも魅力の一つ。レーザー式のレコードプレーヤーが備えられており、CDと同じように早送りや戻し、曲の頭出しが簡単にできます。レーザーで盤面を読み取るので表面にキズが付くこともありません。伝統的な針を使用したプレーヤーもあるので、好みに応じて使いわけてください。もちろん、最新盤のCDやLDも豊富に揃っています。

あと、珍しい資料として昭和36年文化会館開館以来の全公演のプログラムの保存されています。あの時観たバレエのプログラムを買い損ねてしまった、という人はここに来れば見ることができます。

かけ足での紹介になってしまいましたが、こういった施設は使ってみて初めて良さがわかるもの。皆さんもぜひ一度足を運んでみてください。

(のむら・けん 本学OB)



### アクセス 〈分野—音楽〉

東京文化会館 4F 台東区上野公園 5-42  
音楽資料室 (03) 3828-2111 内223~6  
最寄駅：JR上野駅下車 公園口改札前  
開室時間：火～土 正午～午後8時  
日・祝日 正午～午後5時  
休室日：毎週月曜日(保守日等、日曜日)  
所持するもの：入室証(初回は住所・氏名等  
確認できるもの)  
利用はすべて無料(コピーは有料)

ただいま

『犠牲 (サクリフェイス) わが息子・脳死の11日』

柳田邦男著 文藝春秋 1995年

貸出中!

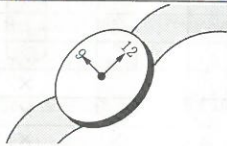
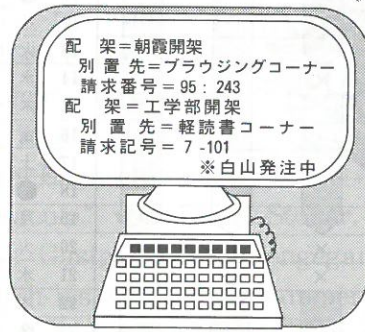
1993年8月10日、長年の神経症による悩みの末に、一人の若者が自らの命を絶った。

「人間の生と死」を根本テーマに、数々の傑作ノンフィクションをものしてきた著者柳田邦男氏の次男洋二郎氏である。

洋二郎氏は、一人の人間が死ぬと、その人がこの世に生き苦しんだということすら、人々から忘れ去られ、歴史から抹消されてしまうという、人間の実存の根源にかかわる究極の恐怖を抱いていた。そして、人々が毎日を平穩に過ごしていられるのは、名も知れぬ人間が密かに自己犠牲を捧げているからではないかとのテーマで作られた映画『サクリフェイス』の思想に深く感動していた。その気持ちを大事にしてやりたいと思った父は、脳死状態に陥った息子からの腎臓提供を申し出る。

最愛の息子を失った柳田氏は、脳死問題について一つの貴重な提言を行う。「二人称 (肉親・恋人など、人生と生活を分かち合った人) の死」の視点を大切にすることである。

この作品は、わが息子が確かにこの世に生きていたという存在の証しを刻印し、究極の恐怖を取り除いてやるための魂の救済の物語なのである。(川越発)



カウンター発9時

図書館ツアー

(朝霞分館日誌より)

昨年は諸事情により、図書館ツアーができなかったが、今年は早くから計画を立て、下準備を進めた。利用者へのPRは、1・3号館、中央掲示板、図書館内用のポスターを作成し、配布用チラシも準備した。5月20日～24日の期間中は館内放送による案内をした。参加者の意見を少しでも聞こうと簡単なアンケートも用意しておいた。

アンケートの結果をみると、まず図書館案内では、利用の際手続きを必要とする所、例えば1・2Fの書庫・マイクロ資料室・貴重書室等の存在がほとんど知られていなかったのか、普段見られない所が見られて良かったとの声が多く寄せられた。

OPAC・CD-ROMの検索は1回につき担当者1名が待機していたのだが、当日参加者が多く、最高で12名、平均すると約7名ずつの参加者を指導するのは無理があり、参加者側からの理解しづらかったとの意見を入れて、2回目から急きよ

指導員1名を増員した。

今まで、恐がって機械の前に座らなかった利用者がこれを機に、OPAC・CD-ROM検索の機能や使い方をマスターして、上手に自分が欲しい情報を手に入れてもらえたらと思った。

最後に、今回の図書館ツアーは、参加者のアンケートにあった開催時間等の問題も多少残ったが、企画者としては、まずまずの手応えだったと思う。

これからも利用者の質問には自信をもって答えられるように、自分自身も勉強していこうと思う。

(朝霞発)

お知らせ

朝霞分館のOPACのキーボードが6月から変わりました。白山と同じになりましたので、朝霞で覚えてしまえば、3年生になって白山にいても困りません。

各端末の所に新操作方法が置いてあります。分からない時には気軽にカウンターへお尋ね下さい。



図書館アラカルト LIBRARY CALENDAR (白山・朝霞・工学部)

※詳細は各館にお問い合わせください。

お知らせ

白山保存期間終了雑誌さしあげます。(7/15~27) ※詳細白山B1Fカウンターまで

7 月			8 月			9 月					
	白山	朝霞	工学部		白山	朝霞	工学部		白山	朝霞	工学部
1 月				1 木				1 日	×	×	×
2 火				2 金				2 月	×		
3 水				3 土	×	×		3 火			
4 木				4 日	×	×	×	4 水			
5 金				5 月			×	5 木			
6 土				6 火			×	6 金	×		×
7 日	×		×	7 水			×	7 土	×	×	×
8 月				8 木			×	8 日	×	×	×
9 火				9 金	×		×	9 月	×		
10 水				10 土	×	×	×	10 火			
11 木				11 日	×	×	×	11 水			
12 金				12 月			×	12 木			
13 土				13 火		×	×	13 金	×		×
14 日	×			14 水		×	×	14 土	×	×	×
15 月				15 木		×	×	15 日	×	×	×
16 火				16 金	×	×	×	16 月	×	×	×
17 水				17 土	×	×	×	17 火			
18 木				18 日	×	×	×	18 水			
19 金				19 月				19 木			
20 日	×	×	×	20 火				20 金			×
21 月	×	×		21 水				21 土			×
22 火				22 木				22 日	×	×	×
23 水				23 金			×	23 月	×	×	×
24 木				24 土	×	×	×	24 火			
25 金	×			25 日	×	×	×	25 水			
26 土	×			26 月				26 木			
27 日	×	×		27 火				27 金			×
28 月	×	×	×	28 水				28 土			×
29 火				29 木				29 日	×	×	×
30 水				30 金	×		×	30 月			
31 木				31 土	×	×	×				

×=閉館

〈白山 (03-3945-7325)〉

夏季休暇中開館時間  
7月29日～9月12日  
11:00-20:00

夏休み貸出〈学部・短大生〉  
貸出開始: 7月8日(月)  
～9月5日(木)  
〃 冊数: 5冊  
返却期限: 9月24日(火)

通常開館時間  
平日: 9:00-21:30  
土: 9:00-20:00

〈朝霞 (048-468-6329)〉

開館時間延長・日曜開館  
7月1日～23日  
月～金: 9:00-19:15  
土: 9:00-16:45  
日: 10:00-17:45(7月7・14日)

夏季休暇中開館時間  
7月26日～9月13日  
10:00-16:00  
夏休み貸出〈学部・短大生〉  
貸出期間: 7月12日(金)  
～9月6日(金)  
〃 冊数: 5冊  
返却期限: 9月21日(土)

通常開館時間  
平日: 9:00-18:15  
水: 9:00-17:00  
土: 9:00-16:00

〈工学部 (0492-39-1321)〉

開館時間延長・日曜開館  
7月12日～25日  
月～金: 9:00-19:00  
土: 9:00-17:00  
日: 10:00-16:00(7月14・21日)

夏季休暇中開館時間  
8月19日～9月30日  
10:00-16:00  
※建築資料室については別途目で確認下さい。  
夏休み貸出〈学部生〉  
貸出期間: 7月26日(金)  
～9月18日(水)  
〃 冊数: 5冊  
返却期限: 10月2日(水)

通常開館時間  
平日: 9:00-18:00  
土: 9:00-16:00